
プレスリリース

ロンドン、2021年5月17日（月）午前0時1分

世界経済の回復により、2021年第1四半期のプラチナ需要は増加し、2021年は3年連続の不足が予想される

- 2021年第1四半期は4四半期連続となる不足（-1トン）、通年でも3年連続して不足（-5トン）が予想される
- まだパンデミック前の水準には達していないが、プラチナ供給が回復
- 世界の景気回復に伴い、工業、自動車、宝飾品セクターを中心に需要が増加
- グリーンテクノロジーに使用されるプラチナへの投資需要は堅調に推移

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル（WPIC）は本日、2021年第1四半期の *Platinum Quarterly* を発表し、2021年の予想を修正しました。

工業、自動車、宝飾品セクターの需要が旺盛であったことと、持続的な投資需要が、回復傾向にあるものの制約された供給を上回ったため、2021年第1四半期のプラチナ需要は4四半期連続で小幅不足（1トン）となりました。

広範な景気刺激策によって世界経済が回復し続けたため、2021年第1四半期のプラチナ需要は前年比26%（13トン）増加し、61トンとなりました。

一方で、2020年の操業停止や新型コロナウイルスを理由とする規制、南アフリカおよびロシアの生産量増加、リサイクルの増加の影響を受け、2021年の総供給量は11%（6トン）増の61トンとなりました。2021年の総供給量は16%増の245トンに増加すると予想されていますが、これはまだパンデミック前の水準（2019年の256トン）には少し遠い状況です。

2021年のプラチナ需要は5%（12トン）増の250トンと予想されており、3年連続で不足（-5トン）となる見通しです。

ガラスが工業需要を押し上げ44%増

2021年第1四半期全体の工業需要は、ガラスセクターの需要が前年比6倍の9トンとなったことを背景に、前年同期比44%（6トン）増となりました。ガラス需要は、主に中国の生産能力拡張に伴ってスクリーンおよび建築資材用途の需要成長が見込まれるため、今後1年間で70%増が予想されています。

経済活動の改善により、特に、化学（11%、2トン）および石油（65%、2トン）セクターの成長が著しく、工業用プラチナ需要が25%（15トン）増加すると予想されています。

「その他」の工業セグメントは2021年第1四半期に23%（1トン）増加し、通年で17%（3トン）増が見込まれています。これには、自動車（スパークプラグおよびセンサーへの使用）やグリーン水素アジェンダ（定置用燃料電池の導入拡大と再生可能電力からグリーン水素の早期生産など）の成長が含まれます。

自動車需要は、サプライチェーンの障害にもかかわらず、2019年の水準を超えると予想

半導体の不足や一部地域のロックダウン規制の強化によって生産は減少したものの、回復の強さの証として、自動車生産台数の増加と排ガス規制の強化により、自動車向けプラチナ需要は2021年第1四半期に8%（2トン）増加しました。特に北米におけるプラチナ需要は

12% (0.3 トン) 増加し、これが他の地域の減少を補いました。中国では、自動車保有台数が急増し、排ガス規制が引き続き強化されていることから、2021 年第 1 四半期のプラチナ需要は前年比で倍増に近い 3 トンに達しました。

2021 年の世界小型車生産台数は、サプライチェーンの課題にも関わらず、前年比 16%、大型車の生産台数は 3%、それぞれ増加すると予想されています。この結果、自動車のプラチナ需要は 22% (17 トン) 増の 91 トンとなり、パンデミック前の水準を超える見込みです。

プラチナ宝飾品セクターの回復

2021 年第 1 四半期の宝飾品需要は前年比 22% (3 トン) 回復しました。特に、中国 (55%、2 トン)、インド (35%、0.2 トン)、北米 (14%、0.3 トン) の加工需要の増加が顕著でした。

2021 年は、プラチナ宝飾品が前年比 9% (5 トン) 増の 62 トンに回復し、2019 年の水準 (65 トン) に近づくことが予想されます。特に、北米、欧州、インド市場での改善が見込まれます。

投資需要は引き続き旺盛

2021 年第 1 四半期の全体の投資需要は前年比 96% (2 トン) 増加し、4 トンになりました。2021 年第 1 四半期の ETF 保有残高は 4 四半期連続で増加しました。これは、自動車触媒における代替需要と水素テクノロジーにおけるプラチナの使用が引き続き投資家から注目されたためです。これが、一部の日本の投資家がプラチナの価格の上昇に乗じて市場に売り戻したことが主因となって減少しました (-9 トン) 地金およびコイン需要を相殺した形となりました。日本市場では、プラチナ価格が歴史的に重要な 1 グラムあたり 4,000 円を超えましたが、これはプラチナの地金およびコインの最も成熟した市場における典型的な反応です。

2021 年のプラチナ投資は過去 5 年間の平均 (23 トン) 程度を堅調に推移すると予想されますが、2020 年の例外的な水準は超えない可能性があります。プラチナ需要のファンダメンタルズに対する良好な見通しが引き続き新規の資金流入を促すため、2021 年に ETF 保有高は 8 トン増加すると予想されています。一方で、地金およびコインの需要予想は、前年に記録した過去最高の 18 トンは下回るものの、14 トンと堅調です。

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンスルのポール・ウィルソン CEO は、以下のようにコメントしています。「前回の *Platinum Quarterly* では、ワクチン接種率が上昇し、未曾有の財政刺激策が実施されたため、世界経済の歯車は着実に回り始めたことが言及されていました。今四半期は、モメンタムが高まっており、景気は加速しています。ただし、依然として経済は制約されており、世界のパンデミックが解決されるまでにはさらなる紆余曲折があるかもしれないため、まだ楽観することはできません。」

「本日発表のレポートでは、プラチナの需給に関連するセクターがこの急速な回復と下支えから恩恵を受ける立場にあることを示唆しています。景気刺激策に加え、多くの政府のアジェンダに気候変動への対応が挙げられている現在、プラチナなどのグリーンテクノロジーで使用される金属に対する魅力がさらに高まっています。製造業のモメンタムが加速すれば、プラチナ消費も増加し、ひいてはこれが短期、長期の両方の投資家の投資活動を刺激するでしょう。」

「商品に対する足元の関心の高さに加えて、プラチナが水素経済と関連していることから、これまでにプラチナ投資を検討していなかった複数の投資家がプラチナ投資を検討するきっかけとなっています。こうした投資家がプラチナをよく検討すれば、プラチナの供給の制約、金およびパラジウムに対するプラチナの大幅な割安感、需要の成長の良好な見通しにより、投資需要は大きく成長するでしょう。」

プラチナ需給バランス (トン)		2018	2019	2020	2021年度予想	2020年/2019 年成長率 (%)	2021年度予想 /2020年成長 率 (%)	2020年第1 四半期	2020年第4 半期	2021年第1 四半期
供給										
製錬高		191	190	155	185	-18%	20%	39	40	44
	南アフリカ	139	137	103	135	-25%	32%	26	27	30
	ジンバブエ	14	14	14	14	-2%	2%	3	4	4
	北米	11	11	10	11	-5%	8%	3	3	3
	ロシア	21	22	22	19	-2%	-12%	5	6	6
	その他	6	5	6	5	11%	-5%	1	1	1
生産者製品在庫における増減 (+/-)		+0	0	-3	-2	N/A	N/A	1	-1	-1
鉱山からの総供給量		191	190	152	184	-20%	21%	40	39	43
リサイクル										
	自動車触媒	60	66	59	61	-10%	3%	15	18	17
	宝飾品	44	49	45	45	-10%	2%	12	13	13
	工業	16	15	13	14	-11%	8%	2	4	4
		0	2	2	2	-2%	3%	0	0	0
総供給量		251	256	211	245	-17%	16%	55	57	61
需要										
自動車		96	88	74	91	-17%	24%	20	22	21
	自動車触媒	91	88	74	91	-17%	24%	20	22	21
	ノンロード	5	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
宝飾品		70	65	57	62	-13%	9%	12	16	15
工業		60	66	60	75	-10%	25%	14	18	21
	化学	18	22	18	20	-16%	11%	5	5	4
	石油	7	7	3	6	-50%	65%	1	1	1
	電気	6	5	4	4	-10%	-2%	1	1	1
	ガラス	8	7	11	20	57%	70%	1	5	9
	医療	7	8	7	8	-5%	5%	2	2	2
	その他	14	18	15	18	-15%	17%	4	4	4
投資		0	39	48	23	24%	-53%	2	4	4
	地金、コインの増減	9	9	18	14	107%	-26%	9	2	1
	ETF保有高の増減	-8	31	16	8	-49%	-50%	7	2	3
	取引所在庫の増減	-1	-1	14	1	N/A	-91%	-1	0	1
総需要		226	259	238	250	-8%	5%	49	61	61
残余量		25	-3	-27	-5	N/A	N/A	6	-4	-1
地上在庫		106	110**	83	79	-24%	-6%			

出典：Metals Focus 2019 - 2021、SFA (Oxford) 2018 年

注記：

1. ** 2018 年 12 月 31 日現在の地上在庫 3,650 koz (114 トン) (Metals Focus)
2. ↑ ノンロード自動車需要は自動車触媒需要に含まれます
3. Metals Focus および SFA(Oxford)のデータは、同一または直接比較で作成されているとは限りません
4. 2019 年以前の SFA のデータは、5,000oz 単位に四捨五入されています

メディア関連のご要望は、Elephant Communications お問い合わせください

Guy Bellamy / Jim Follett / Jemima Woods

wpic@elephantcommunications.co.uk

編集者への注記：

『Platinum Quarterly』について

『Platinum Quarterly』は世界のプラチナ市場を四半期毎に分析するもので、独立した立場で実施され無料で提供される業界初のレポートです。『Platinum Quarterly』は、ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルの刊行物です。白金族金属市場の権威ある独立機関である Metal Focus への委託により実施された調査と詳細な分析に主に基づいて作成されています。

World Platinum Investment Council (ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル) について

World Platinum Investment Council Ltd. (WPIC、ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル) は、現物プラチナ投資に関する世界市場の権威として、客観的で信頼できるプラチナ市場情報に対する、投資者の方々の強いご要望を受けて設立されました。WPIC の使命は、行動可能な見識と目標を定めた商品開発を通じて、現物プラチナに対する世界の投資需要を喚起することにあります。WPIC は、南アフリカの主要プラチナ生産者により 2014 年に創設されました。WPIC の加盟会社は、Anglo American Platinum (アングロ・アメリカ

ン・プラチナ)、Impala Platinum (インパラ・プラチナム)、Northam Platinum (ノーザム・プラチナ)、Royal Bafokeng Platinum (ロイヤル・バフォケン・プラチナ)、Sibanye-Stillwater (シバニエ・スティルウォーター)、Tharisa です。

詳細については、ウェブサイト www.platinuminvestment.com をご覧ください。

WPIC 事務局住所：World Platinum Investment Council, Foxglove House, 166 Piccadilly, London, W1J 9EF

Metals Focus について

Metals Focus は、世界の手貴金属コンサルティング会社の 1 つで、世界の金、銀、プラチナ、パラジウム市場に特化し、調査、定期レポートの発行、予測、個別のコンサルティング業務を行っています。Metals Focus チームは 8 つの法域に分散し、世界中に多数の情報源を有しています。これを活かし、Metals Focus は、貴金属市場に関する世界レベルの統計、分析、予測を提供することに専心しています。

詳細情報は、ウェブサイト www.metalsfocus.com をご覧ください。

プラチナについて

プラチナは世界で最も希少な金属の 1 つで、独特の品質を持つため、様々な需要分野において高く評価されています。プラチナ特有の物性および触媒活性は、工業利用においてその価値を確立しました。同時に、貴金属としての独特な特質のため、高級宝飾品にも使用されています。

プラチナには、主に鉱山での生産とリサイクルの 2 つの供給源があります。後者は使用済み自動車触媒と宝飾品のリサイクルによるものが主流です。過去 5 年間の年間プラチナ総供給量（精製済みオンス）の 72%~77%は、鉱山で生産されたものです。

世界のプラチナ需要は堅調で、ますます多様化しています。プラチナ需要の 4 大主要分野は、自動車、工業、宝飾、投資です。

自動車触媒における過去 5 年間のプラチナ需要は、総需要量の 31%から 43%の間を推移しています。自動車以外の工業分野でのプラチナの多様な使用は、世界総需要量の 24%となっています（過去 5 年間の平均）。同様に、宝飾品におけるグローバルな年間総需要は、平均で、プラチナ総需要の 28%を占めています。投資はプラチナ需要の中で最も変動が大きく、過去 5 年間は総需要の 0%から 20%を占めています（投資家が保有する未公表の保有残高の変動を除く）。

免責事項

World Platinum Investment Council および Metal Focus のいずれも、投資に関する助言を提供するための規制機関による許可を受けていません。本書のいかなる部分も、投資に関する助言、証券もしくは金融商品の販売の提案または購入の助言を意図するものではなく、そのように解釈されるべきでもありません。投資を行う前に必ず適切な専門家による助言を受けてください。詳細については、ウェブサイト www.platinuminvestment.com をご覧ください

-ENDS-